

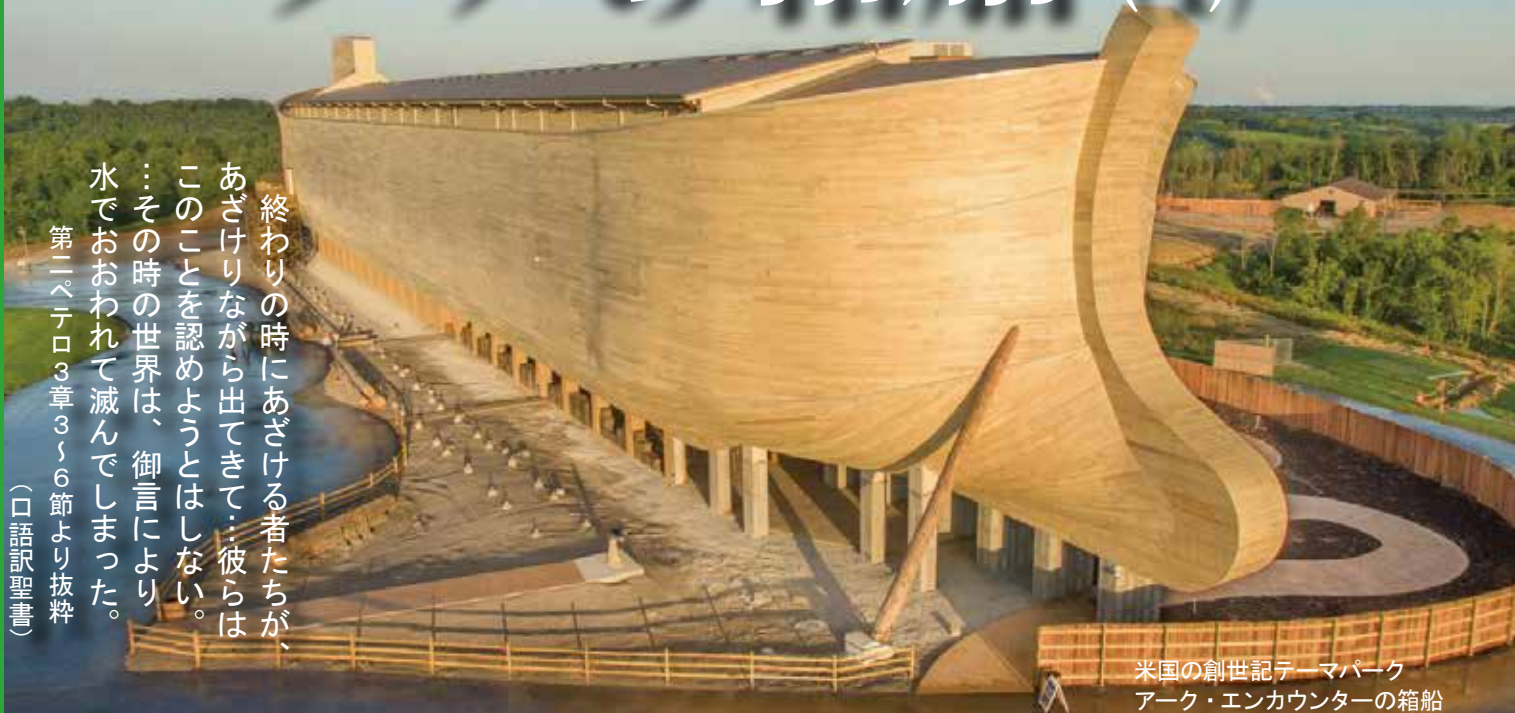


天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。
わたし、主は、
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
あなたを民の契約とし、
あなたを民の契約とし、
あなたを民の契約とし、
あなたを民の契約とし、
あなたを民の契約とし、
あなたを民の契約とし、
あなたを民の契約とし、
あなたを民の契約とし、

イザヤ四十二章5、6節

一般財団法人 ジェネシスジャパン 2023年5月20日
ニュースレター 第57号
〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡 3652-306-3
電話 029-292-9621 ファックス 03-6862-8340
メール info@genesishjapan.com ホームページ genesishjapan.com

ノアの箱船 (1)



米国の創世記テーマパーク
アーク・エンカウンターズの箱船

終わりの時にあざける者たちが、
あざけりながら出てきて…彼らは
このことを認めようとはしない。
…その時の世界は、御言により
水でおおわれて滅んでしまった。
第二ペテロ3章3〜6節より抜粋
(口語訳聖書)

ジェネシスジャパン会長 宇佐神 実

大洪水の真実

聖書の創世記には、かつて地球全体を覆った大洪水の記録があります。

それによると、大洪水を生き延びたのは、箱船に乗ったノアとその家族および動物たちだけでした。そしてアララテ山に漂着した箱船から降りたノアと家族は、東に移動しシナルの地(メソポタミア南部)に住み着き、その子孫がメソポタミア文明を發展させました。しかし、バベルの塔事件が起こり、人々はそこから世界中に散らされ、その先々に文明を發展させて今日に至っています。

そういうわけで、現在生きてい

るすべての人は、ノアの3人の息子の子孫です。世界各地に似通った洪水伝説があるのも、その歴史が受け継がれたためでしょう。

洪水伝説

洪水伝説は、メソポタミアはもとより、中国・韓国・台湾・マレーシア・タイ・オーストラリア・シベリア・アメリカインディアン・インカ・マヤ・アステカほか世界中に200以上も伝わっています。

日本では明確な形で残されてはいませんが、伝説の名残りと考えられるものが断片的に散見されます。たとえば古事記には天鳥船(アマノトリフネ)、日本書記には天

鷗船(アマノハトフネ)が登場し、岐阜県の船山に到着したことが記録されています。ノアの洪水の記録に鳥や鳩が出てくるため、話が交じり合っただけの船名となったのかもしれませんが。

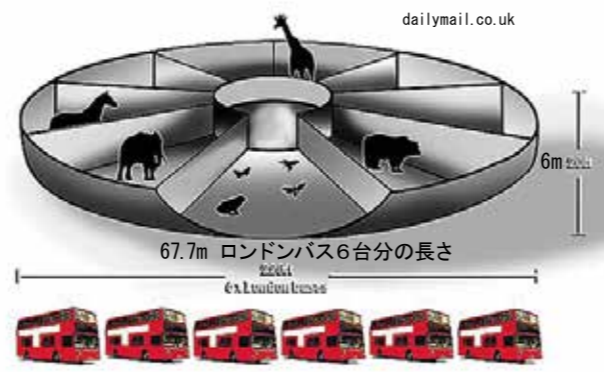
メソポタミアには、紀元前13世紀の作とされるギルガメシュ叙事詩があり、それは「ウトナピシュティムが神の命で1辺60mの立方体の船を造り、人と動物を乗せて洪水を逃れた」というものです。

聖書の権威を否定する試み

聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。(2テモテ3:16)



インドで造船された直径 12m (1/5 以下のスケール) のバビロニアの箱船



フィンケルが推測した、古代バビロニア洪水伝説の箱船の寸法

聖書の無誤性を信じる人は、聖書は創造主の靈感によって書かれたもので、その原典において歴史や科学を含むあらゆる面ですべて正しいと信じます。

一方、聖書の正誤は人の知恵で判断できると信じる人々、すなわち無神論者、自由主義神学者、高等批評家たちは、聖書の誤りを示そうとさまざまな説を提唱してきました。

その一つは、創世記の執筆年代についてです。彼らは、創世記が書かれたのはユダヤ人がバビロンに捕囚されていた紀元前 550 年頃で、バビロニアの神話を元に編纂され、大洪水の話もそこから盛り込まれたと主張します。

そしてノアの洪水の原話は紀元前 13 世紀のギルガメシュ叙事詩にあるとされていましたが、2010 年に新説が登場しました。それは、古代バビロニアのアトラ・

ハシース叙事詩(紀元前 1750 年)の洪水伝説こそその原話だというもの。これは楔形文字の専門家、大英博物館のアーヴィン・フィンケルによる説で、彼はこの文書が創世記よりも一千年以上古く、この伝説を元にノアの洪水の話が作られたと主張したのです。

それによると、人と動物は巨大な円形の船で大洪水から救われたということです。イラクやインドなどでは、現在でも漁や渡し船として円形のコラク船(直径 2~6m)が使われています。フィンケルは、紀元前 1750 年頃、チグリス川とユーフラテス川に挟まれたメソポタミア一帯で洪水が起こり、人と動物がコラク船で難を逃れた出来事から大洪水の話が創作されたのだと推測しました。彼はコラク船を巨大化させて屋根を付ければ、救命いかだの箱船に変わると説明しました。¹

では、彼が本当の箱船だと主張した巨大コラク船の詳細を見てみましょう。それは直径 67.7メートルの円形で高さは 6m、船梁は木製、その周りの船底と側面全体にはヤシの繊維で作った長さ 527km にもおよぶ一巻きのロープが巻き付けられており、防水に瀝青が塗られていました。その総重量は約 2,200 トン、その大きさは、サッカー W 杯で使用されるコート幅(68m)とほぼ同じです。²

彼はバビロニアの箱船を再現し

ようと造船の専門委員会を立ち上げました。しかし専門家たちによるコラク船の運用可能な大きさの最大値は、直径 12m だったのです。そのため、フィンケルらはインドの現役コラク船造船業者に委託して縮小サイズの箱船の再現を試みました。

こうして総重量 35 トン、直径 12m (実寸の 1/5 以下) の円形のバビロニアの箱船が、4 ヶ月をかけて 2015 年 9 月に完成したのです。そしてついにコラク船を進水させる時が来ました。期待に胸を膨らませてその瞬間を見守っていたフィンケルを失望が襲いました。湖に浮かべるとそれは激しく浸水し、船内が大洪水で沈みそうになりました。そこで強力な排水ポンプで排水し続けることで、ようやく水に浮かせることができたのです。排水ポンプのない古代バビロニアでは、それはたちまち沈没してしまっただけでしょう。いずれにせよ、彼がノアの箱船の原型と考えた直径 67.7m の叙事詩の船は、非現実的な空想科学に過ぎないことが証明されたのです。

創世記のノアの箱船

それを次のようにして造りなさい。箱舟の長さは三百キュビト。その幅は五十キュビト。その高さは三十キュビト。(創世記 6:15)

創世記 6 章には、箱船の寸法が正確に記してあります。1 キュビトとは、肘から中指の先までの長



シュメール・キュビトの銅棒：メソポタミアのニップルで発掘された1キュビトの銅製物差し。長さ 51.72cm。トルコのイスタンブール考古学博物館蔵³

さのことです。国や時代によって多少の違いはありますが、イスラエルでは一般的に 44.5cm、最長で約 62cm です。シュメールで使われた 1 キュビトの銅製の棒(写真)も発見されていて、その長さは 51.72cm でした。

仮に 1 キュビトを 50cm とすると箱船の大きさは、長さ 150m、幅 25m、高さ 15m、寸法の比率では、長さ：幅：高さ = 30:5:3 となります。これは表 1 にあるように船舶工学の発達した近代の船舶と同じ比率です。今日では鋼材を用いて非常に大きな船が建造されますが、ノアの箱船のサイズは木造船としては今日の技術でも最大級なのです。

1994 年、韓国海軍が聖書通りの実寸比で 1/50 スケールのノアの箱船模型と寸法比をさまざまに変えた 12 の模型を造り、それぞれの波浪安定性を検証しました。その結果ノアの箱船通りの寸法比が居住性と安定性と強度のバランスが最も優れているとわかり、たとえ 30m 以上の高波にも転覆せず安定して浮かび続けることができることが証明されました。⁵

創世記に記されている箱船は、多くの動物と人が一年余りの洪水を生き残ることを目的としており、その目的に十分に耐えるものだということがわかったのです。このことから、ノアの洪水の記述がいかに現実的であるかがわかります。

| 船名 | 長さ | 幅 | 高さ | 長さ：幅：高さ |
|--------------------|-------|-------|-----|----------|
| プロダクト/ケミカルタンカー | 183m | 32m | 19m | 29.5:3 |
| 掃海母艦「うらが」 | 141m | 22m | 14m | 32.5:3.2 |
| ノアの箱船 | 150m | 25m | 15m | 30:5:3 |
| ギルガメシュ叙事詩の箱船(直方体) | 60m | 60m | 60m | 5:5:5 |
| アトラ・ハシース叙事詩の箱船(円形) | 67.7m | 67.7m | 6m | 5.5:0.44 |

表 1 船舶の寸法とその比率：表の 5 つの船舶のうち、上の 2 つはノアの箱船とほぼ同じ比率で、現在も運用されている。これは創世記の記述通りの箱船が実際に運用できることを示す。下二つの叙事詩の箱船の形は非現実的で、伝承の途中で本来の姿が失われて伝わったためだと考えられる。⁴(数値は上から 2 桁で四捨五入、1 キュビト = 50cm とし換算)

創世記の執筆年代

それでは、自由主義神学者たちが創世記の執筆年代を紀元前 550 年頃とする主張は正しいのでしょうか。

考古学がまだ発達していなかった 18 世紀末に始まった自由主義神学では、最初に文字が使われるようになったのは紀元前 1000 年頃だと推測しました。そのため、モーセ五書も紀元前 1000 年以降の誰かによって書かれたに違いないと主張したのです。

しかし出エジプト記には、創造主が十戒の文書を刻んだ石の板をモーセに与えたことが書かれています。この出来事が起こったのは紀元前 1450 年頃ですから、すでに文字が存在していたのは明らかです。考古学が発達した現在では、それよりはるか昔から文字が使われていたことがわかっています。古代メソポタミアでは、粘土板に楔形文字で刻まれた文書として保存されました。フィンケルが翻訳した叙事詩もその一つです。

現在知られている限り世界最古の図書館は、紀元前 2000 年頃のエブラ宮殿廃墟跡で発見されたもので、楔形文字の粘土板 15,000 枚が保管されていました。自由主義神学の推測に反し、その頃も文字が使われていたのです。また、創世記 5 章 1 節には「これはアダムの歴史の記録である」とあり、アダムも文字を使っていたことを示しています。アダムは創造され

た最初から言葉を話し、動物に名を付けることができました。それだけの能力があれば、当然文書を書くこともできたでしょう。

19 世紀の考古学者、P.J. ワイズマンの研究により、創世記がメソポタミアの粘土板の文書と同様の書式で記されていることが明らかになりました。彼は、創世記が 11 の文書から成っていて、モーセに受け継がれた文書をモーセが編纂して一つの書としたのではないかという説を提唱しました。⁶もしそうであれば、聖書には天地創造の時からのもので、出来事が記録として残され、受け継がれて今日に至っているのです。

箱船の形

聖書には、箱船の正確な寸法は記されていますが、箱型だったのか船型だったのかは記されていません。どちらであっても同じ寸法になるからです。

箱型として再現されたノアの箱船はオランダや香港にあり、船型として再現されたものは米国ケンタッキー州にあります。表紙の絵は米国のもので、創世記 1~11 章を扱った聖書テーマパーク『アーク・エンカウンター(箱船との遭遇)』のもので、

進化論的に考えれば、現在が最も科学の発達した時代で、ノアの時代は、非常に原始的な技術しかなかったらと考へがちです。しかし創世記 4 章の記述を見る



バグダットのコラク渡船 1914 年撮影

Wikipedia

と、アダムから六世代後には、放牧生活をする者、楽器を奏する者、鍛冶屋が存在し、技術も急速に発達していったと考えられます。また、先に述べたように木造船としては最大級の船がノアの箱船だったのです。

アーク・エンカウンターでは、当時の非常に発達していたであろう技術を推測して、箱船を再現しています。そこでは、船内の換気や飲み水の確保、動物たちの餌やりや檻の掃除の仕組みなど、さまざまな工夫が凝らされています。

産業革命によって近代技術が急速に発展してから、まだ200年も経っていません。そのことを考えると、天地創造から大洪水までの1600年余りの間、まだ人の寿命が非常に長かった時代に、技術が発達が著しかったとしても何の不思議もないでしょう。

米国の箱船は、波による横揺れを防ぐため、船尾上部に風見鶏のような働きをする舵を取り付けています。それは古代メソポタミアの船にはそのような設計がされており、ノアの箱船の姿からその技術を取り入れたのではないかと推測したためです。

ただし、箱型だとしても約25mの幅があったので転覆の心配はなかったでしょう。また、今日の大船では、大きなはずみ車の軸を船体に固定し、それを高速で回転させることで横揺れを防いでいます。ノアもそのような技術を組み込んでいたかもしれません。そういうわけで、箱船が船型でも箱型でも問題はなかったでしょう。

人の知恵か創造主の知恵か

聖書を信じたくない人々は、聖書の記述に誤りを見つけようとします。そこで特に槍玉に上げられ

るのが創世記1-11章です。その記述に信憑性がないと証明できれば、救いを信じる必要性はなく、聖書を信じることは愚かだと確信でき、また信仰を失わせる種も蒔けるからです。

フィンケルがどんなに、バビロニアの洪水伝説こそ真正であると主張したとしても、それで本当の歴史が変わるわけはありません。創造主の御子イエス・キリストが、マタイ24:37-39でノアの洪水が真実であることを語っており、表題の聖書箇所でも、終わりの時にノアの洪水を否定する人が出てくることを預言していますが、その通りになっています。

今回見てきたように、ノアの箱船は、実際に現在運用されている船と同様の寸法で、370日におよぶ大洪水を乗り切ることのできる船でした。しかも、そのサイズだけから判断しても、大洪水前の人々の技術の高さの一端を知ることができるのです。

無神論、自由主義神学、高等批評の立場に立つ学者たちは、人の知恵で聖書の真偽を判断できるとし、聖書の多くの箇所を寓話や作り話だと主張します。しかし創造主の知恵と人の知恵のどちらが正しいでしょう。人が進化論を考案し、創造主のいない歴史観を作って教育したとしても、それで実際に起こった出来事は変えられないのです。

これからも聖書の権威を失墜させようとする作り話が、学術的権威をまもって提唱され続けることでしょう。たとえそれらを信じる人からあざけられたとしても、創造主の靈感によって書かれた聖書の言葉を堅く信じ続けようではありませんか。

引用文献・参考文献

1. Griffiths, S. "Noah's Ark revealed: Scaled-down replica based on 4000-year-old tablet's instructions is built by hand in India" [Mail Online](#), Sept. 12, 2014.
2. Grigg, R. "Rebuilding Noah's Ark: getting the facts straight" [Creation](#), May 12, 2015 <<https://creation.com/rebuilding-noahs-ark>>
3. キュビトの銅棒「キュビット」 [Wikipedia](#) <<https://ja.wikipedia.org/wiki/キュビット>>
4. 船のサイズは、ジャパンマリニューナイテッド株式会社のホームページを参照 <<https://www.jmuc.co.jp/products/tanker/>> <<https://www.jmuc.co.jp/products/naval-vessel/>>
5. Hong, S.W. "Safety investigation of Noah's Ark in a seaway" [Journal of Creation Creation Ministries International](#), April 1994, pp.26-36. <<https://creation.com/safety-investigation-of-noahs-ark-in-a-seaway>>
6. Wiseman hypothesis [Wikipedia](#) <https://en.wikipedia.org/wiki/Wiseman_hypothesis>

お知らせ

「創造主と共に生きて」

好評発売中

名誉会長
宇佐神 正海自伝
全35ページ
定価 250円+税



献金のお願い

国内外に創造主のみわざを伝えるため、ご支援をお願いします。

ジェネシスジャパン

ゆうびん振替 00350-7-3364

ゆうちょ銀行 10650-52405611

講義・イベント予定

■全アジア創造カンファレンス 台湾大会

日程：2023/7/27-29

会場：国立臺灣大学

参加登録は↓

<<https://aaca33.wixsite.com/aacc/join-aacc-2023>>

■秋の創造セミナー

日程：2023/11/2～4

会場：ホテルグリーンプラザ上越
新潟県南魚沼市

■創世記の世界を巡るツアー

(創造博物館・ノアの箱船テーマパーク・他)

日程：2023/11/18-23

特別ガイド/ダニー・フォルクナー博士
講師・通訳/宇佐神実

お問い合わせは

ジェネシスジャパンまで